



特集

2025年度 第1 回理事会

滋賀県商工観光労働部との意見交換会

令和7年春の叙勲・褒章.....	P2
大阪・関西万博 滋賀県の魅力発信プロジェクト.....	P2
新入会員ご紹介.....	P3
科学技術分野の文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞受賞.....	P3
日経社歌コンテスト「甲賀高分子株式会社」様が入選！.....	P4
事務局人事.....	P4
お知らせ.....	P4・P5
近江の企業クローズアップ「日本マタイ株式会社」.....	P6
経済指標・事務局だより.....	P7



4月23日に琵琶湖ホテルにて第1回理事会が開催され、下記の議案が承認された。5月19日に開催する通常総会にて審議の後、本格的に令和7年度の活動が開始される。

〈提出議案〉

- 第1号議案 新入会員の承認について
- 第2号議案 令和6年度事業報告と収支計算書の承認について
- 第3号議案 会費の額とその払込方法について
- 第4号議案 役員の補欠選任について
- 第5号議案 通常総会開催について



理事会終了後、昨年に引き続き滋賀県商工観光労働部との意見交換会を開催した。同部からは岡田暁人部長、宮田善弘次長をはじめ各課から14名の幹部が出席のもと意見交換会を行った。意見交換会に先立ち、宮田次長から県商工観光労働部の施策の方向性について、石田商工政策課長から補助金等について資料に基づき説明が行われた。

2020年策定の「滋賀県産業振興ビジョン2030」では、「新たなチャレンジが日本で一番行いやすい県」、「社会的課題をビジネスで解決し続ける県」を目指す姿とし、そのために①チャレンジする人・企業が集まる滋賀、②実証実験のフィールド滋賀、③ビジネスで実践する「健康しが」、④世界から選ばれる滋賀の4つの視点を掲げている。それをもとに、今年度の施策の方向性として、県内企業の「稼ぐ力」の強化と「生産性の向上」を促し、本県経済の持続的な成長と産業の創出を目指し3つの大きな柱で推進していく。

一つ目の「滋賀の産業を担うひとづくり」では、若手人材の確保や定着を目指して、若手人材と県内企業が接点を確保できるよう企業の情報や魅力を確認し発信していく。また新たな支援策として、若手従業員の

奨学金返還支援を開始する。

二つ目の「産業創出・中小企業の活性化」では、オープンイノベーションを確り進めていきたい。環境や資源循環、バイオものづくり、半導体や宇宙等の先端分野に対し、大学の知的資源を活用すべくマッチングの機会を創出していく。加えて、滋賀県工業技術総合センターの整備や最新設備への更新にも力を入れて取り組んでいく。また開催中の大阪・関西万博にも県内のスタートアップ企業が数多く参加されており、今後、県内企業との出会いの場を創出すべく意見交換の機会を設けていく。

最後に「シガリズムの推進」では、万博でのインバウンド需要の取り込みや、国スポ・障スポについても県を挙げてPRしていく。その他、ビワイチ体験者数の更なる増強や、制作開始が決まっている大河ドラマについても、県内一円でのプロモーションを展開していく方針が説明された。

その後、当会理事との活発な意見交換が行われた。主な意見や発言は下記の通りです。

〈意見・発言〉

- 今年度より開始を検討している若手就労者への奨学金返還支援は非常に有効的な支援だと考える。その支援制度に関して、他府県に本社がある県内事業所の従業員への支援でも対象になるか伺いたい。

(回答) 県外に本社があっても県内事業所に勤務している従業員への支援については対象となる。但し、支援の対象となる企業は、中小企業であることも併せて説明させていただく。

- 滋賀県は水や空気といった自然環境に恵まれているだけでなく、生きていく上で必要になる全ての要素において恵まれていることを総合的にアピールしていくべきではないか。また若者だけに留まらず、他の年代でも他府県からの移住者が増えている現状も踏まえ、そのような切り口でアピールしていくことも大切ではないかと考える。

(回答) 個々の事業だけではなく、滋賀県全体の魅力として環境や教育といった要素をアピールしていくことが大切であると認識しており、今後の施策や支援策に確りと反映させていきたい。

- スタートアップへの切れ目のない支援を充実させていくことは、非常に重要であると認識している。県内では守山市が熱心に展開しているが、県としては守山市を中心に支援を展開していくのか、あるいは新たな地域での展開を考えているのか教えていただきたい。

(回答) 滋賀県では現在、産学官のコンソーシアム「滋

賀テックプランター」を作り、大学等と連携し、研究シーズの発掘から育成までの支援を展開している。また工業技術総合センターを活用して、技術面での支援についても強化していく方針である。

各市町との連携については、地域課題の発掘の観点からも親和性もあり、県全体としての支援と併せて、地域ごとの特性を活かした支援を進めていきたい。

令和7年春の叙勲・褒章受章おめでとうございます

当会会員企業の中から下記の方が受章されました。

旭日小綬章

後藤 充啓 氏 株式会社ゴーシュー 代表取締役会長 (元当会副会長)

黄綬褒章

仲野 薫 氏 株式会社空兵衛造船所 代表取締役

大阪・関西万博 滋賀県の魅力発信プロジェクト

滋賀魅力体験ウィーク ～ Discover Shiga, Go Lake Biwa ～

びわ湖とともに脈々と受け継がれてきた自然、文化、歴史や未来を切り拓く産業等の魅力を飲食、物販、展示、ワークショップ等を通してPRします。

8月31日、9月1日の両日には当会会員のアイズ様も出展されます。

2025年6月24日(火)～6月29日(日) テーマ：健康しが

2025年8月27日(水)～9月1日(月) テーマ：MLGs

場所：関西パビリオン多目的エリア



出展カレンダー

滋賀県デイ ～びわ湖サマークルーズ～

1日まるごと
滋賀県の日！

滋賀の子どもたちが湖上をめぐり、環境について学ぶ学習船「うみのこ」を疑似体験いただきながら、滋賀県内をめぐり、ステージ上で繰り広げられるパフォーマンスを通じて、滋賀の魅力をお伝えします。

2025年7月24日(木) 場所：EXPOホール



出演者情報は
下の2次元コードより
ご確認ください。



新入会員 ご紹介

共栄社化学株式会社 滋賀工場



代表者氏名
およびお役職

生産担当取締役
東雲 正剛

所在地 滋賀県犬上郡多賀町大字四手字諏訪960-22

TEL 0749-48-1556

業 種 化学工業

FAX 0749-48-1563

資 本 金 2億1千万円

E-mail n_oka@kyoeisha.co.jp(窓口担当：岡)

従業員数 30名(全社約270名)

URL https://kyoeisha.co.jp/

当社は2024年に創業120周年を迎えました。「共存共栄」の理念のもと、工業用化学品の製造・販売を通じて社会に貢献しています。滋賀県の自然に囲まれた滋賀工場では、少数精鋭でDXを活用し、環境に配慮したスマート工場づくりに取り組んでおり、県より「しがCO₂ネットゼロみらい賞」を受賞しました。特に物流面では、輸送時のCO₂排出量削減に積極的に取り組み、クリーンで持続可能な物流の実現を目指しています。

日総工産株式会社



代表者氏名
およびお役職

営業所長
新見 勉

所在地 滋賀県近江八幡市鷹飼町1526YP2-1階

TEL 0748-31-0012

業 種 製造系人材サービス

FAX 0748-33-5411

資 本 金 100百万円

E-mail t-nimi@nisso.co.jp

従業員数 12名

URL http://www.nisso.co.jp

少子高齢化の現在、製造現場におけるお客様のニーズは多様性を極め、製造領域の人材不足の解消に留まらず、設備管理、生産技術、機械設計、研究開発、ITエンジニアなど多くの職務領域のサポートを必要としています。私たちは「人を育て 人を活かす」を創業理念に、様々な領域でサービスを展開しております。会員の皆様これからもよろしくお願い致します。

令和7年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞受賞

文部科学省における審査の結果、当会員企業より10名の方が受賞されました。

氏 名	勤務先	業績名
市川 正純	㈱村田製作所八日市事業所	画期的エアブローエリア導入による乾燥装置の考案
佐藤 陽	日伸工業㈱本社大津工場	両面画像検査用のカラクリ治具考案
杉本 龍水	ダイハツ工業㈱滋賀(竜王)工場	フェンダー順立てカセット自動搬送装置の考案
瀬戸 慎一	㈱ダイフク滋賀事業所	架台製作による保管効率の改善
高谷 清彦	東レ㈱滋賀事業場	安定製膜可能な送液パスラインの考案
中嶋 伊重	トヨタ紡織滋賀㈱	成形品箱入れ替えシューターからくり装置考案
丸茂 駿	旭化成バッテリーセパレータ㈱ 電池材料事業部ハイポア工場	活性炭利用による異常排水処理台車の考案
山口 信行	ダイハツ工業㈱滋賀(竜王)工場	射出成形品自動ゲートカット治具の考案
濱崎 彰寛	ダイハツ工業㈱滋賀(竜王)工場	射出成形品自動ゲートカット治具の考案
蒔田 知樹	ダイハツ工業㈱滋賀(竜王)工場	射出成形品自動ゲートカット治具の考案

NIKKEI社歌コンテスト2025 甲賀高分子株式会社様が入選！「想いが伝わる賞」を受賞



甲賀高分子社歌 ~世界をつつみこもう~



入賞された社歌はこちらから
(YouTube動画)

日本経済新聞社が主催。企業・団体の社内外コミュニケーション活性化を企図して開催している、社歌を起点に様々な出会いとドラマが生まれる祭典。今回の応募総数は117件。



事務局人事

● 教員民間等派遣研修生

上野 博貴

5月1日より当協会事務局に滋賀県甲良養護学校から上野 博貴(うえの ひろき)さんを新たにお迎えいたしました。期間は10月31日までの6ヶ月間です。皆様よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

■ 滋賀労働局から 派遣労働者の派遣料金に関する配慮義務の周知要請

5月7日、当協会事務所にて、標記にかかる要請書が滋賀労働局の高雄職業安定部長から川西専務理事に手交された。

昨今、大企業を中心に賃金引上げの動きがある中、今後は、派遣労働者等の非正規雇用労働者に対しても、賃金引上げの流れを波及させていくことが求められてくる。

派遣先の通常の労働者と派遣労働者との間の均衡のとれた待遇を確保するために、同一労働同一賃金及び派遣料金の配慮義務を遵守ください。詳細は次の資料を参照ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/001432997.pdf>



■ 滋賀県未来投資総合補助金(第2弾)のご紹介

滋賀県は、長引く物価高騰など厳しい状況にある中小企業等の持続的な賃上げに資する取組を後押しし、賃上げの原資となる付加価値額の増加を図ることを目的に、「滋賀県未来投資総合補助金(第2弾)」を実施している。補助金の予算額 1,550,000千円

(2025年5月12日時点 予算進捗状況：23.8%)

申請期間：2025年4月22日(火)～7月22日(火)

※募集期間中であっても、申請額が予算額に達する見込みとなった時点で受付を終了する場合がある。

詳細はウェブサイトを参照ください。

<https://www.knt.co.jp/ec/shiga-miraitoshi>



■ 滋賀県が米国の関税措置等に係る特設ページを開設

滋賀県では、米国の関税措置の影響が懸念される状況を受け4月3日には「特別相談窓口」を設置していたが、4月15日にはさらに特設ウェブサイトを開設した。

相談窓口の紹介のほか、経営を支え、稼ぐ力を強化するために利用できる公的な施策が一元的にまとまっている。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/343506.html>



■ 厚生労働省(滋賀労働局)の“賃金引上げ支援助成金パッケージ”のご紹介

滋賀労働局は最低賃金の引上げ・物価上昇を上回る賃金引上げ・生産性向上(設備・人への投資)等に取り組む中小規模事業者を支援しており、「賃金引上げ支援助成金パッケージ」として特に利用を推奨する次の5つの助成金について、オンライン説明会(無料)を開催されます。ぜひ参加申し込みをしてください。

- ① 業務改善助成金
- ② 働き方改革推進支援助成金
- ③ キャリアアップ助成金(賃金規定等改定コース)
- ④ 人材開発支援助成金

- ⑤ 人材確保等支援助成金(雇用管理制度・雇用環境整備助成コース)

説明会開催日時：各回定員500名。2回とも同一内容。

2025年6月18日(水) 13:30～15:30

26日(木) 13:30～15:30

入退出は自由なので興味のある助成金の説明だけを視聴することもできる。詳細はウェブサイトを参照ください。

<https://jsite.mhlw.go.jp/shiga-roudoukyoku/material.html>



■ 滋賀県 令和6年労働条件実態調査の結果を発表

4月22日、滋賀県は「令和6年労働条件実態調査」の結果を公表した。この調査は、県内の民営事業所に雇用されている労働者の労働条件の実態を明らかにし、労務管理改善等の基礎資料として提供するほか、労働関係諸機関の参考資料とすることを目的として、毎年、実施されているものである。県内の常用労働者10人以上の民営事業所のうち無作為抽出した1,000事業所を対象に、令和6年6月30日現在の状況について7月に調査を行い、483事業所から有効回答を得たものである。

同調査では、従業員の男女比率、労働時間、有休取得率、仕事と生活の両立支援制度の導入状況など、参考になるデータが掲載されている。

今回初めて男性の育児休業取得率が5割を超え、取得日数も「5日以上」が9割以上を占めるようになっており、浸透してきている状況がうかがわれる。

詳細は次のウェブサイトを参照ください。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/343422.html>



■ 中小企業庁 中小企業白書・小規模企業白書を発表

4月25日、中小企業庁がとりまとめた中小企業白書・小規模企業白書が閣議決定され、公表された。

中小企業・小規模事業者の動向

- 2024年度は円安・物価高が継続し、30年ぶりに「金利のある時代」が到来したことで、輸出より輸入の比率が高い企業、借入金依存度が高い企業にとって、厳しい経営環境となっている。
- 中小企業の労働分配率は既に8割に近いため、更なる賃上げ余力も厳しい状況。一方で、人手不足が深刻な状況にあり、人材確保のために業績改善を伴わない賃上げも増えている。
- コストカット戦略は限界を迎えており、物価、金利、人件費の上昇と、構造的な人手不足に直面する今こそ、積極的な設備投資・デジタル化と、適切な価格設定・価格転嫁の推進により、付加価値や労働生産性を高める経営に転換していくことが必要である。

こうした現状のなか、成長・持続的発展に向けて

「経営力」を次の3つの観点から分析するなど、参考になる内容になっている。

経営者個人特性：異業種・広域ネットワークで他の経営者と交流し、学び直しに取り組む経営者の高い成長意欲は業績向上に寄与する。

戦略策定：経営計画策定・実行、差別化や市場環境を意識した適切な価格設定を行う戦略的経営は、業績向上や賃上げ・投資を促進する。

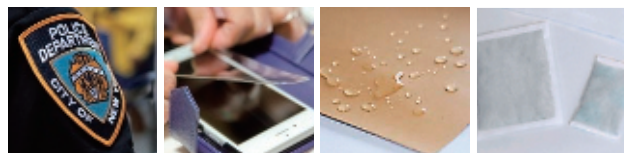
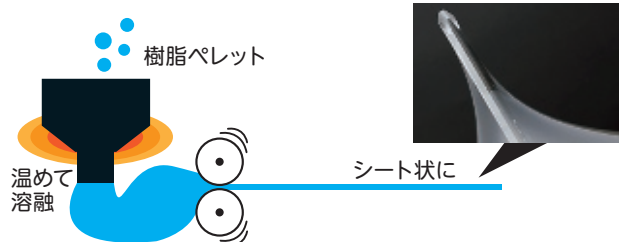
組織人材：経営理念、業績・経営情報の共有を重視するオープンな経営は業績向上に寄与する。賃上げ、社内コミュニケーション円滑化、働き方・職場環境改善など、従業員を大切にする人材経営は従業員の確保・維持に貢献する。

白書の内容は次のウェブサイトを参照ください。

<https://www.meti.go.jp/press/2025/04/20250425001/20250425001.html>



ねつ か そせいじゆ し ようゆう
【熱可塑性樹脂の溶融押出でつくるフィルムの簡略図】



ゴムの3~5倍摩擦に強く、低温でも硬さが変わりにくいため、過酷な環境にも耐えます。紙やアルミなどをラミネートして様々な所で活躍しています。ワッペン^①の接着剤、液晶の保護シート、カイロなどにも使われています。

近江の企業 Check!
クローズアップ

日本マタイ株式会社

滋賀工場・研究所

段ボール・板紙のレンゴー株式会社のグループ企業として、重包装製品の製造を担っています。滋賀工場は熱可塑性樹脂製品やラミネート製品の主力工場です。



滋賀工場長補佐
小畑 康彦

滋賀工場長
福島 俊英

弊社の製品はその性能から、工業部品、自動車部品、溶剤保護手袋、搬送ベルト、食品、医療など様々な場面で使われています。

未来を担う滋賀研究所



フレキシブルコンテナは今でも主力商品の一つ。生分解性素材で作る土壌なども開発しています。

【熱可塑性樹脂シートの特長】

- 伸縮性がある
- 成形しやすい
- 耐水・耐油・耐冷・耐摩擦
- 不織布、紙、アルミなどにラミネート可能
- 抗菌などシート自体に付加価値を加えられる
- 溶けた後硬化する性質を活かした接着材(ブルー)になど

弊社の創業は明治40年。米などを入れる麻袋(マタイ)の回収・販売から始まりました。素材は麻から紙・ポリエチレンへと変わり、ポリ袋を作るための技術が進化。滋賀工場は、グループ内でも熱可塑性樹脂のフィルム(シート)と各素材へのラミネート(圧着・蒸着)に特化した工場です。

マタイ麻袋から機能性新素材へ

世界になかったフィルムで環境・コストの課題解決

伸縮性を活かした自動車の保護フィルムは海外ではスタンダード。



フィルムにあらかじめ塗装を施した「塗装レスフィルム」や内装向け「加飾フィルム」で、脱溶剤・工程の合理化。環境負荷低減、省力化、時短に貢献いたします。



技術開発本部
副本部長
杉岡 輝信

「環境」をキーワードに

「社会が求めるものを一つでも多

多様な経験と小型試験機がある環境により、比較的安価で試作できるのも強みです。ぜひ「こんなことができるかな」をお聞かせください。

開発に取り組んでいます。

「こんな機能を持ったフィルムは作れないか?」「この樹脂で作ってみてほしい」と企業や素材メーカーからご依頼をいただきます。「まずはやってみます」の精神で、新素材の開発に取り組んでいます。



医療分野でも活躍

次の目標は世界のニーズ

気候の違いや生活習慣の違いでニーズは変わります。現在も海外に拠点がありますが、その周辺のお困りごとに応える製品開発も推進したいと思っています。

高機能フィルムのご紹介↓



環境配慮型製品のご紹介↓



「く生み出す」という社長の言葉をモットーに、滋賀発の新素材の提案にも力を注いでいます。フィルムとは言えども、エコではないという印象がありますが、弊社の製品を使うことで溶剤などの利用を減らし、工程も減らせ省力化できます。

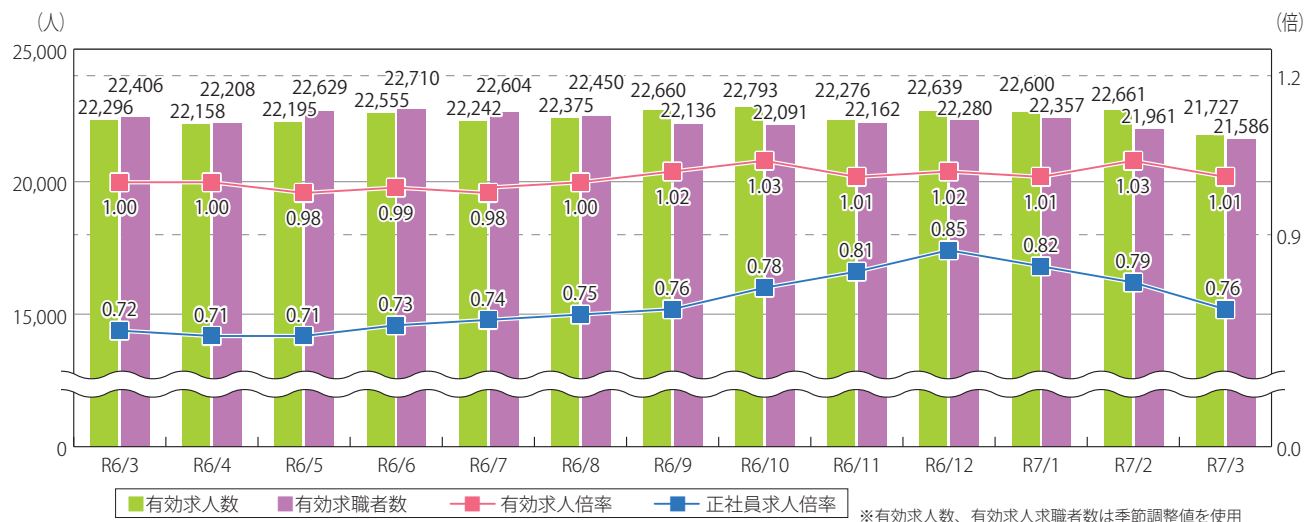


日本マタイ株式会社
Nihon Matai Co.,Ltd.

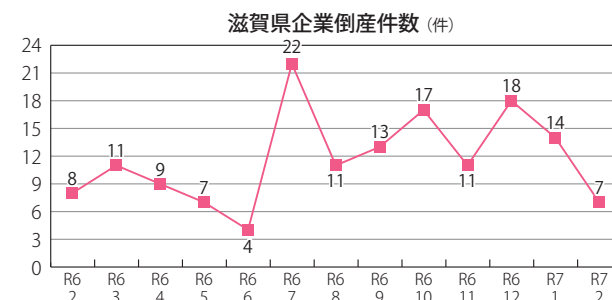
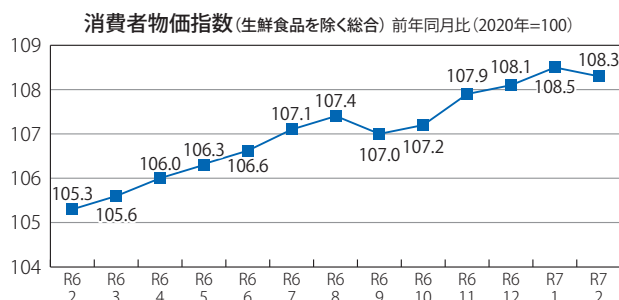
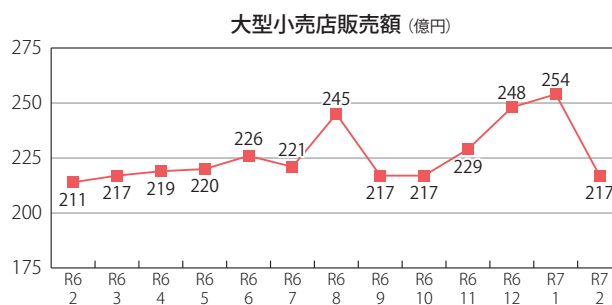
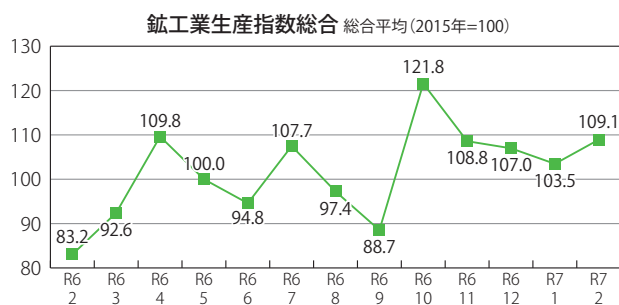
【日本マタイ株式会社 滋賀工場】
滋賀県守山市古高町808番32号
TEL:077-583-7000(代表)
<https://www.matai.co.jp/>



◆◆求職・倍率状況◆◆



◆◆労働経済指標◆◆



◆◆◆労働実務相談室のご案内◆◆◆

相談内容は秘密厳守し、相談料は**無料**です。お気軽にご相談下さい。

■相談日：毎月1回(原則第4水曜日(14:00～16:00) 祝日の場合は木曜日)

■弁護士：置田 文夫氏

■会場：滋賀経済産業協会内 <コラボしが21 5階>

※相談予約は、必ず2日前に事務局までお申込下さい。(TEL：077-526-3575)

**無料
相談**

事務局だより <6月の主な行事予定>

会議名	開催日	会議名	開催日
淡海環境保全財団 第1回理事会	6月2日(月)	社会人が習得すべき必須スキルI研究会(2日目)	6月18日(水)
滋賀経済団体連合会・総会	6月3日(火)	滋賀県環境事業公社評議員会	
社会人が習得すべき必須スキルI研究会(1日目)	6月4日(水)	人活×人事労務研究会	6月20日(金)
品質保証研究会	6月5日(木)	バイオビジネス創出研究会・理事会・総会	6月23日(月)
滋賀県立大学開学30周年記念式典	6月7日(土)	共創型リーダー育成研究会	6月24日(火)
未来のチャレンジャー育成研究会	6月9日(月)	自律型生産リーダーの要諦研究会	6月25日(水)
安全マインド育成研究会	6月11日(水)	現場見学研究会	6月27日(金)
IoTの基礎を学ぶ研究会	6月13日(金)	瀬田工業高校 見学・交流会	6月30日(月)



●用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー
●インキ：環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷